

3 小単元の構成図

【小単元のねらい】

新聞社で働く人々は、国民に正確な情報を速く詳しく伝えるために、日々、様々な工夫や努力をしている。そして、新聞などの通信産業が国民生活に大きな影響を及ぼすことを考えて、伝える情報を取捨選択している。このような人々のおかげで、私たちは生活に必要な情報を毎日得ることができ、便利に生活することができる。私たちは、必要な情報を選択するとともに、情報を有効に活用することが大切である。

【考えること】

<p>情報をできるだけ速く正確に伝えられるような仕組みを整えている。</p> <p>(新聞社の仕組み)</p>	<p>様々な情報を収集し、正確な情報を速く詳しく得るための工夫や努力をしている。</p> <p>(取材記者の工夫や努力)</p>	<p>情報が国民生活に大きな影響を及ぼすことを考えながら新聞で伝える情報を選んでいる。</p> <p>(編集者の工夫や努力)</p>	<p>私たちは、必要な情報を取捨選択するとともに、情報を有効に活用することが大切である。</p> <p>(情報の有効活用)</p>
---------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

【調べる事実】

<p>○新聞社のネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の各地にある支局 (「国際性」「地域性」) ・取材用のヘリコプター (「新しさ」) ・国際電話やパソコン通信 (「新しさ」) <p>○社内での仕事分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材記者 ・編集者 ・デスク など 	<p>○取材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間態勢で働いている (「新しさ」) ・取材先に何度も足を運ぶ ・いろいろな人の話を聞き情報を仕入れている (「新しさ」「社会性」) ・取材現場での張り込み (「新しさ」) <p>○記事の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な判断ができるように日々勉強している (「社会性」「影響性」) 	<p>○編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間厳守の紙面制作 (「影響性」) ・最新情報をもとにした紙面作成 (「新しさ」) ・1日に集まる記事の量、約5千本 (紙面に掲載されるのは約10分の1) ・掲載記事選び、紙面レイアウトにおける葛藤 (「社会性」「影響性」) <p>○紙面の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを活用した紙面レイアウト <p>○紙面の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤りのない新聞をつくるための点検(校閲) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>誤字や表現の確認 人権への配慮 など</p> </div> <p>(「人間性」「記録性」)</p>	<p>○新聞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい、詳しい、多様な情報 ・情報を毎日入手できる ・持ち運びが便利 ・何度も読み返すことができる <p>○テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見ることができる ・緊急の情報が入る ・いつでもどこでも見ることができない <p>○インターネット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に情報を選ぶことができる ・情報を収集できる場所が限られる ・情報量が膨大 <p>○携帯電話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも、どこでも情報が収集できる ・緊急の情報や詳しい情報を収集することが難しい
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 指導計画（15時間）

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	2 ①	1 新聞と出会い、新聞の特徴について話し合う。 (1) 新聞の特徴やよさについて話し合う。 ○ 新聞について知っていることや新聞とかわかった経験 ○ 新聞の全体の様子や記事の特徴、新聞のよさ ・記事の数や種類 ・最新の情報 ・各地の情報 (2) 新聞について調べてきたことを出し合い、新聞の内容について話し合う。 ○ 種類ごとの記事数、時間ごとの記事数、記事の大きさ	○ 新聞のよさに気付かせるために、子どもたち一人一人に新聞を用意する。 ○ 新聞に記載される記事の種類や数、最新の記事、どこの記事なのかという視点で見つけさせる。 ○ 前時学習を手掛かりとして、種類ごとと時間ごとの記事数や文字数について調べるようにしておく。
	1	2 新聞に関する資料をもとに学習問題をつくる。 (1) 新聞作りに携わっている人々について話し合う。 (2) 朝刊の情報量について話し合う。 (3) 朝刊の文字数が約16万字あることから自分なりの学習問題を話し合い、クラスの学習問題をつくる。 (学習問題) ○○○新聞社で働く人たちは、どのようにして毎日たくさんの情報を新聞にのせることができるのだろう。	○ 新聞を作る人に興味関心をもたせるために、新聞社で働く取材記者と編集者を提示する。 ○ 新聞社の人々が毎日たくさんの情報をのせていることに気付くことができるように、調べてきた文字数を合計し、朝刊の文字数を明らかにする。
	1	3 学習問題のこたえの予想について話し合う。 (1) 資料をもとに学習問題のこたえの予想を考える。 ○ 新聞をつくる新聞社の人々の働き (2) 予想を話し合い、クラスの予想をまとめる。 【記事をつくるための記者の働き】 ・情報を仕入れる工夫をしている (A) ・事件の現場にすぐにかける工夫をしている ・カメラや携帯など道具の工夫をしている ・日本中、世界中に記者がいる ・新聞社に情報を送る仕組みがある	○ 一人一人が予想を考えることができるように資料を提示する。 ○ 予想と追究の視点が明確になるように、同じ予想の少人数グループで話し合いを行う。 ○ 予想と根拠や、友達との話し合いでの付け加えを書きこみしやすいうように、学習ノートの形式を工夫する。
	1	4 自分が調べることを整理して調べ学習の計画を立てる。 ○ 調べること ○ 調べ方・調べる順序などの計画 【紙面をつくるための編集者の働き】 ・パソコンなど機械に工夫がある (B) ・どこにどんな記事をのせるかきまっている ・どういう記事をのせるか話し合っている ・いくつかの役割があり分担をしている ・情報を入手する仕組みがある	○ 一人一人が見通しをもって追究活動をすることができるように、「予想」「調べること」「調べてわかったこと」の項目がある学習ノートを準備する。
／さぐる	3 ① (裁量)	5 調べる計画に沿って記者や編集者の工夫や努力について調べる。 (1) 自分の課題に沿って調べる。 ○ 資料などで一人調べ ・新聞社の人々の工夫や努力 ○ 新聞社見学 ・記者と編集者へのインタビュー活動 ・新聞社の人々の工夫や努力	○ 一人一人が、自分の計画に沿って調べることができるように資料を準備する。 ○ 追究活動がより深まるように、新聞社見学と取材記者・編集者へのインタビュー活動を設定する。新聞社の人とは事前に打ち

／
ま
と
め
る

- ② (2) 調べたことを取材記者の工夫や努力、編集者の工夫や努力の視点でまとめる。
○ 調べたことと自分の考えの整理
- 3 6 調べたことをもとに学習問題のこたえについて話し合う。
- ① (1) 同じ課題の友達とグループをつくり、話し合う。
- ① (2) 取材記者グループの発表を聞き、取材記者の工夫や努力について話し合う。
- ① (3) 編集者グループの発表を聞き、学習問題のこたえについて話し合う。

(A) 取材記者の人たちの工夫・努力 <ul style="list-style-type: none">・24時間態勢で働いている・現場の取材・大量の資料集め・情報の選択・情報を本社に送るネットワーク	(B) 編集者の人たちの工夫・努力 <ul style="list-style-type: none">・毎日の編集会議・伝えたい内容の精選・何度も点検する・わかりやすい表現にする・記事のレイアウト
・記者と編集者の役割分担 新聞社の仕組み ・各地にある支局 ・ヘリコプター ・通信機器の導入 ・最新印刷システム	



- 2 7 学習問題のこたえについて、国民生活への影響の面から考える。
- ① (1) 10個の記事から自分が新聞の一面に載せたいトップ記事を選び、理由を考える。
○ 記事を選ぶ苦労
- ① (2) 編集会議を行い、新聞社で働く人々の苦労や葛藤を感じ、新聞が国民に及ぼす影響を考える。
○ 各グループでの編集会議と紙面の発表
○ GT(〇〇〇新聞社の編集者)の話

(学習問題のこたえ)
〇〇〇新聞社で働く人々は、国民生活への影響を考えながら、たくさんの情報の中から読者に伝えたい情報を選び、正確な情報を速く詳しく伝えるための工夫や努力をしている。新聞は私たちの生活に影響を与えている。

- 2 8 私たちの生活と情報とのかかわりについて話し合う。
- ① (1) 身の回りの情報源について考える。
○ テレビ、インターネット、携帯電話など
○ 上手に活用する方法
・必要なものを ・いくつか比べて
- ① (2) 自分の生活と世の中の情報とのこれからのかかわり方を考えて作文を書く。
○ 自分の生活と情報とのかかわり方

合わせをして、話してほしい内容などを確認しておく。

- わかりやすい表現物の作成のために、写真を準備する。また、他のグループの質問を考えさせる。
- 発表内容や表現物を見直し、自分の考えをつくるために、同じ予想のグループでの話し合いを設定する。
- 子どもの学習ノートをもとに、発問や意図的な指名、板書の計画を立てておく。
- 新聞ができあがって読者に届けられる過程を意識できるように、取材記者、編集者の順で発表させていく。
- 話し合いを焦点化させるために、各グループの代表に発表させる。同じグループの子どもたちには、工夫や努力がさらに伝わるように付け加えをさせていく。

- 編集者の葛藤に迫ることができるような10個の記事を準備する。
- 新聞社で働く人々の苦労や葛藤に迫ることができるように、編集会議の模擬体験を行う。
- 編集者の思いや願いにふれ、自分の考えを高めるために、GTに新聞づくりの苦労や葛藤を話してもらおう。

- 新聞以外の情報源についてそれぞれのよさを知り、上手な活用方法を考えさせるようにする。
- 情報とのかかわり方について、自分の考えをまとめるために、これまでの学習を振り返らせる。

第5学年 本時指導案

1 本時 「新聞や新聞社で働く人々に関する資料から学習問題をつくる場面」(3/15)

【コミュニケーション1】

2 本時の目標

- 新聞を作っている人々や新聞についての疑問をもち、新聞がどのようにして作られているのかを調べていこうとする問題意識をもつことができる。

3 本時の見どころ

本時は、新聞について調べていく学習問題をつくる場面です。新聞を作っている人の写真と朝刊に載せられる文字数が約16万字あることから疑問をもたせ、少人数での話し合いや全体での話し合い活動を通して、本時の目標にせまります。

4 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、新聞を持ち寄り、新聞について気付いたことを話し合っている。子どもたちが見つけた新聞の特徴として、世界の情報や最新の情報がとても詳しく載っていること、写真や見出しなどが工夫されていてわかりやすいことなどがある。これらのことから子どもたちは、新聞のよさを感じている。

本時は、新聞に関する資料をもとに、学習問題をつくる場面である。子どもたちが手分けして数えた朝刊の合計文字数約16万字（原稿用紙400枚分）と原稿用紙1枚分の文字数400字の比較から生まれた疑問をもとに、一人一人が学習問題を考える。それを少人数や全体での話し合いを通してクラスの学習問題をつくり、問題意識をもつことができるようにすることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、○○○新聞社や取材記者と編集者の写真を提示する。そして、○○○新聞社の様子、取材記者や編集者の服装・所持品・行動の様子などに注目させ、気付いたことを話し合うようにする。
- 次に、新聞の文字数について話し合う。新聞の情報量に驚きをもたせるために、朝刊の文字数を原稿用紙に置き換えて提示する。その際、作文に書いた経験を想起し比べさせる。
- 資料をもとに疑問に思ったことを全体で話し合った後、自分なりの学習問題をつくる。その際、学習問題が思いつかない子どもには、前時の学習や本時の板書をもとに助言し、新聞づくりへの疑問をもつことができるようにする。
- その後、自分なりの学習問題を少人数で話し合う。その際、学習問題とその根拠について出し合い、自分なりの学習問題を見直したり、友達の考えを参考にしたりするように助言する。
- 最後に、学習問題を全体で話し合う。その際、子どもたち一人一人の考えを大切にして学習問題をつくるために、子どもたちの発表を認めていくようにする。その発言の中から学習問題をつくり上げる上で大切な言葉を板書で整理し、その言葉をつないで学習問題をつくるようにする。クラスの学習問題をつくった後、学習問題のこたえの予想を学習ノートに書くようにする。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援			
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞に関する資料をもとに学習問題をつくろう。 	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <p>(1) 前時の学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい記事 ・世界の記事 ・毎日発行されている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題づくりに生かせるように、前時に学習した新聞の特徴について想起する。 			
7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞は新聞社で作られているんだな。 	<p>新聞に関する資料をもとに学習問題をつくろう。</p> <p>2 新聞に関する資料をもとに話し合う。</p> <p>(1) 新聞を作っている人々について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○○新聞社の写真 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞は新聞社でつくられていること ○ 取材記者と編集者の写真 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞をつくるには取材記者と編集者という仕事があること 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞をつくっている人々に着目できるように、○○○新聞社や取材記者と編集者の写真を提示し、気付いたことを話し合うようにする。 			
8分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取材記者や編集者などの人々が新聞を作ってるんだ。 ○ 新聞の文字数って、こんなに多いんだね。 ○ 毎日16万字も書いているなんて、私たちには真似できないよ。 ○ 新聞をつくっている人はすごいな。 	<p>(2) 新聞の文字数について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞紙の朝刊の文字数 <ul style="list-style-type: none"> ・約16万字 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">原稿用紙約400枚分の量</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">新聞の特徴</td> <td style="width: 33%;">新聞社 記者、編集者</td> <td style="width: 33%;">新聞の文字数 約16万字</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">・約16万字への驚き ・新聞を作る人の存在</p>	新聞の特徴	新聞社 記者、編集者	新聞の文字数 約16万字	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に、400字詰原稿用紙一枚に書く経験をさせておく。 ○ 朝刊の新聞の情報量に驚きをもたせるために、朝刊の文字数を原稿用紙に置き換えて提示する。その際、原稿用紙1枚分の経験を想起し比べさせる。
新聞の特徴	新聞社 記者、編集者	新聞の文字数 約16万字				
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の学習問題をつくることのできたぞ。 	<p>3 新聞に関する資料をもとにして学習問題をつくる。</p> <p>(1) 自分で学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ノートへの書き込み <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって毎日たくさんの情報を新聞に載せることができるのかという疑問 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題を思いつかない子どもには、前時の学習や板書をもとに助言し、新聞づくりの疑問をもてるようにする。 			
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の学習問題と根拠も□□君と同じだ。 ○ なるほど、その根拠もあるね。 	<p>(2) 学習問題を少人数で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりの学習問題の発表 ○ 友達の考えからの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の学習問題が明確になるように、少人数で学習問題を出し合い、自分の考えを見直すように助言する。 			
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうやって毎日たくさんの情報を新聞にのせることができるのだろう。 	<p>(3) 学習問題を全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりの学習問題の発表 ○ 全体での話し合い <p>(学習問題) ○○○新聞社で働く人たちは、どのようにして毎日たくさんの情報を新聞にのせることができるのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的話し合いでは、子どもたち一人一人の考えを大切にして学習問題をつくるために、子どもたちの考えを認めながら板書で整理し、その言葉をつないで学習問題をつくるようにする。 			
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題のこたえの予想を考えるぞ。 	<p>4 「今日の学習で」を書き、本時学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題のこたえの予想 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の学習へつなげるために、学習問題のこたえの予想を考えさせる。 			

第5学年 本時指導案

- 1 本時「〇〇〇新聞社の人々が毎日たくさんの情報を新聞にのせることができるわけを予想する場面」(4/15) 【コミュニケーション2】

2 本時の目標

- 新聞社の取材記者と編集者の1日のスケジュールを示した資料をもとに、新聞社で働く人々が毎日たくさんの情報を新聞にのせることができるわけを話し合い、学習問題のこたえを予想し、追究意欲を高めることができる。

3 本時の見どころ

本時は、資料をもとに学習問題「〇〇〇新聞社で働く人たちは、どのようにして毎日たくさんの情報を新聞にのせることができるのだろうか。」のこたえを予想する場面です。新たな資料をもとに一人一人が予想を考え、同じ予想の二人組での話し合いを通して、本時の目標にせまります。

4 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、朝刊の文字数が約16万字もあり、400字詰原稿用紙400枚分に相当することを知り、驚きを示していた。そして、自分たちは400字程度の作文を書くのにさえ、20～30分もかかった経験から、「〇〇〇新聞社で働く人たちは、どのようにして毎日たくさんの情報を新聞にのせることができるのだろうか。」という学習問題をつくることができた。

本時は、学習問題のこたえを予想する場面である。資料をもとに学習問題のこたえを予想し、同じ予想の二人組での話し合いによって自分の予想を見直し、追究意欲を高めることをねらいとしている。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、取材記者や編集者の1日のスケジュールを示した資料を提示し、それから分かることを出し合わせる。そして、取材記者が情報を集めたり取材して記事を書いたりしていること、編集者が新聞に載せる記事を選んだりレイアウトしたりしていることなどに気付かせていきたい。その際、子どもたちの気づきを教師が板書で整理する。
- 次に、この話し合いをもとに、学習問題のこたえを予想させる。その際、根拠のある予想になるように、資料に着目しながら書かせる。また、予想とその根拠、さらに、友達のを受けての付加・修正まで書き込める学習ノートを作成しておく。
- そして、同じ予想の二人組での話し合いの場を設定し、予想を話し合わせる。その際には、自分の予想をホワイトボードに書かせてグルーピングを行う。教師はスムーズにグルーピングができるように助言する。そして、話し合いを通して、自分の予想の根拠を確かめたり、付加・修正したりする。付加・修正した部分はよくわかるように、赤ペンで書き込ませるようにする。
- 最後に、全体で予想を話し合う。その際、はじめの考えと友達との交流後の考えを明確にして発表させるようにし、自分の予想を明確にさせる。子どもたちの予想は、
 - ・取材記者が工夫や努力をしている
 - ・編集者が工夫や努力をしているの二つに大別できると思われるので、整理して板書したい。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○○○新聞社の人々がどのようにしてこんな新聞をつくることができるのか予想するぞ。 	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習問題のこたえを予想し、話し合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習は、前時につくった学習問題のこたえを予想することを知らせる。
7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取材記者が記事を書いているんだね。 ○ 編集者は記事を仕上げたり、レイアウトしたりしているんだね。 ○ 新聞社には取材記者や編集者などいろいろな仕事をする人がいるんだね。 	<p>2 資料を見て気付いたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取材記者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を集める ・ 取材する ・ 記事を書く ○ 編集者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞にのせる記事を選ぶ ・ 記事をチェックし仕上げる ・ 紙面レイアウトを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取材記者と編集者の仕事内容に気付かせるために、取材記者と編集者の1日のスケジュールを示した資料を提示する。 ○ 取材記者と編集者の仕事内容を整理するために、分けて板書する。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠をはっきりさせて、自分なりの予想を書こう。 	<p>3 学習問題のこたえを予想する。</p> <p>(1) 自分の予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の予想とその根拠 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料をもとに、予想とその根拠を書かせる。 ○ 予想とその根拠、さらに、友達の考えを受けての付加・修正を書き込める学習ノートを準備しておく。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の考えが参考になったよ。 	<p>(2) 同じ予想の二人組で付加・修正をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ予想をもつ二人組での話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループイングしやすいように、ホワイトボードを活用する。 ○ 付加・修正した部分は、よくわかるように、赤ペンで書き込ませる。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達によくわかるように発表しよう。 ○ 取材記者ががんばっていると予想したわけは、初めは記事を詳しく書いているからと思っていたけど、□□くんの考えを聞いて締め切りに間に合うようにしているからというわけが増えました。 	<p>(3) 学級全体で予想を練り上げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【記事をつくるための取材記者の働き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を集める工夫をしている ・ 現場に早く行く工夫をしている ・ カメラや携帯など準備している ・ 日本中、世界中に取材記者がいる ・ 記事を新聞社にすぐに送れる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【紙面をつくるための編集者の働き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンなど機械を利用している ・ 紙面レイアウトの工夫をしている ・ 話し合いをしている ・ 役割を分担している ・ 情報を集める仕組みがある </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の予想の高まりに気付くように、初めの考えと友達と交流した後の考えを話すようにさせる。 ○ 子どもの予想がわかりやすいように、板書で分類し整理する。
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二人組で話し合っ、予想をしっかり立てることができた。調べるのが楽しみだ。 	<p>4 「今日の学習で」を書き、本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これから調べたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予想をもとに、調べたいことを書くように助言する。

第5学年 本時指導案

1 本時 「子どもたちが編集者になって編集会議を行い、学習問題のこたえをまとめる場面」(13/15)

【コミュニケーション3】

2 本時の目標

- 新聞社で働く人々が、毎日、苦労や葛藤をしながら新聞を作っていることをとらえ、新聞の情報が国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解することができる。

3 本時の見どころ

本時は、編集会議を行い、学習問題のこたえをまとめる場面です。新聞のトップ記事を決める編集会議やG Tの話を通し、本時の目標にせまります。

4 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、新聞社の人々が正確な情報を速く詳しく伝えるために工夫や努力を行っていることには気付いているが、新聞が国民生活に大きな影響を及ぼしていることには気付いていない。そこで、子どもたちが編集者になりきって編集会議を模擬体験し、国民生活への影響を考えながら使命感をもって新聞を作っている新聞社の人々の苦労や葛藤に気付かせたいと考えた。前時は編集会議の準備として、編集会議で取り上げる8月8日の10件の記事の中から一人一人がトップ記事を選び、選んだ理由を考えている。

本時は、新聞の一面を飾るトップ記事を決めるための編集会議と、G Tの話をもとに、記事を選ぶ苦労について話し合い、学習問題のこたえをまとめていく場面である。編集会議とG Tの話をもとに、新聞の情報が国民生活に大きな影響を与えていることについて理解できるようにすることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、子どもたちに、これまで学習でかかわってきたG Tを紹介し、学習意欲を高めるようにしていく。
- 次に、新聞の一面を飾るトップ記事を決めるための編集会議を行う。編集会議は、意見の対立が起こりやすいように4・5人組の異質グループで行う。デスクがみんなの意見をまとめ最終決定をすること、時間内に決めなければならないことなど、新聞社の編集会議のように場面設定を行う。また、編集者の立場で考えていくということをしっかりとおさえていく。
- 編集会議の後、選んだトップ記事を発表し、編集会議の感想を話し合う。トップ記事を発表させるときには、選ぶときの苦労が伝わるように、時期、記事の重要性、伝える対象の視点で他の記事と比較させながら発表させるようにする。また、選んだトップ記事で何を伝えたいか、伝えるときにはどんなことに気を付けたいかについても発表させる。
- 選んだトップ記事を発表した後、G Tの話聞く。G Tには、8月8日の新聞を提示してもらい、その日のトップ記事が選ばれた経緯について話をさせていただくようにしておく。また、新聞が国民生活に与える影響、記事を選ぶときの苦労や葛藤など、新聞社で働く人々の使命感についても話をさせていただくように、事前に打ち合わせをしておく。
- G Tの話聞いた後、学習問題のこたえをまとめていく。その際、G Tの話聞いて感じたことを発表させ、自分たちでつくった学習問題のこたえに加えていってはどうかと促す。本時で学んだことを自分たちの考えとして価値付けて、新聞社で働く人々の苦労や葛藤と、国民生活への影響を考えながら新聞を作っているという使命感があるということまで考えを高めたい。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
3分	○ 編集者になってトップ記事を決めることに期待感をもっている。	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <p>○ GTの紹介</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>新聞のトップ記事を決める編集会議をして、学習問題のこたえをまとめよう。</p> </div>	○ 本時は、読者ではなく新聞を作る立場となり、考えていくことを知らせる。
10分	<p>○ 自分の意見をみんなに伝えよう。</p> <p>○ ぼくは五輪のことを伝えることが大切だと思います。それは、8月8日は五輪が始まった日だからです。</p> <p>○ 身近なことを伝えるために、地元福岡の記事、「福岡空港」のことをトップ記事に決めます。</p>	<p>2 編集会議の模擬体験を行い、8月8日のトップ記事を決める。</p> <p>(1) 話し合いの進め方を確認する。</p> <p>○ 時間内で話し合う</p> <p>○ 話すときは理由まで話す</p> <p>○ デスクが意見をまとめる</p> <p>(2) 少人数グループで編集会議を行う。</p> <p>○ 8月8日の記事から10件</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・米原潜放射能もれ ・五輪きょう開幕 ・原油高 ・景気拡大終息 ・福岡空港増設か新設 ・トヨタ減収 ・畜産農家に補助 ・チベットデモ など</p> </div>	<p>○ 編集者の立場であることを再度確認する。</p> <p>○ 編集の苦労や葛藤を感じさせるために、対立した話し合いとなるように、異質グループで編集会議の模擬体験を行う。</p> <p>○ デスクが積極的に編集会議を進められるように、適宜アドバイスをする。</p>
15分	○ 話題を知らせることも大切だけど、私たちと身近な「福岡空港」の記事にしました。	3 各グループが決めたトップ記事を発表し、編集会議を振り返る。	○ 選ぶときの苦労が伝わるように、他の記事と比較させながら発表させる。
5分	<p>○ 新聞記事は、全ての読者にそれほどまでに影響を与えるんだ。</p> <p>○ 1つの記事を載せるのにも大変な苦労があるんだな。</p>	<p>4 GTの話聞く。</p> <p>○ 8月8日のトップ記事と選ばれた理由</p> <p>○ 新聞が国民生活に与える影響(プラス面とマイナス面)</p> <p>○ 記事を選ぶときの苦労や葛藤</p>	<p>○ 同じ考えや似た考えで発言をつないでいく。</p> <p>○ GTと事前に打ち合わせを行い、話の内容を確認しておく。</p> <p>○ 新聞の影響性を印象づけるために、新聞が国民生活に影響を与えることを板書に残す。</p>
7分	<p>○ GTさんたちが、毎日読む人のことを考えて、慎重に記事を選んでいくことがわかりました。</p> <p>○ 新聞は私たちの生活にいろいろな影響を与えています。</p>	5 学習問題のこたえをまとめる。 <学習問題のこたえの方向性>	○ GTの話聞いて感じたことを発表させる。
<div data-bbox="411 1406 1114 1776" data-label="Diagram"> </div>		○ 本時で学んだことを自分たちの考えとして価値付けるために、前々時に作った学習問題のこたえに着目させる。	
<p>○○○新聞社で働く人々は、国民生活への影響を考えながら、皆さんの情報の中から読者に伝えたい情報を選び、正確に速く詳しく伝えるための工夫や努力をしている。新聞は私たちの生活に影響を与えている。</p>			
5分	○ 新聞社の人の熱い思いを感じました。	6 「今日の学習で」を書き、本時学習をまとめる。	○ 友達やGTの考えを聞いて自分の考えが詳しくなったことを書くように助言する。